週間天気予報解説資料

2026年11月11日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月12日から11月18日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・14日から15日にかけて、低気圧が黄海付近から日本海に進み、前線が東シナ海から本州南岸付近を東に進む。
・16日は、低気圧が発達しながら千島の東に進み、中国東北区の高気圧が日本海へ移動する。
・17日は、高気圧が日本の東へ移動し、低気圧が日本海に進む。
・18日は、低気圧が発達しながら北海道付近に進む。

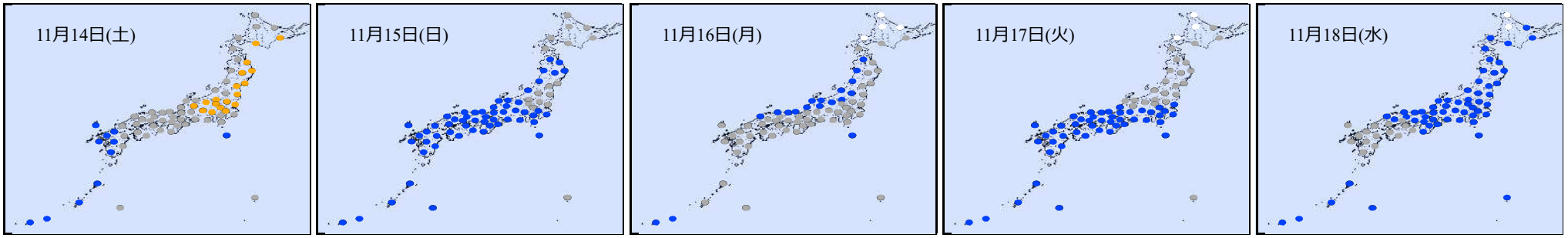
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

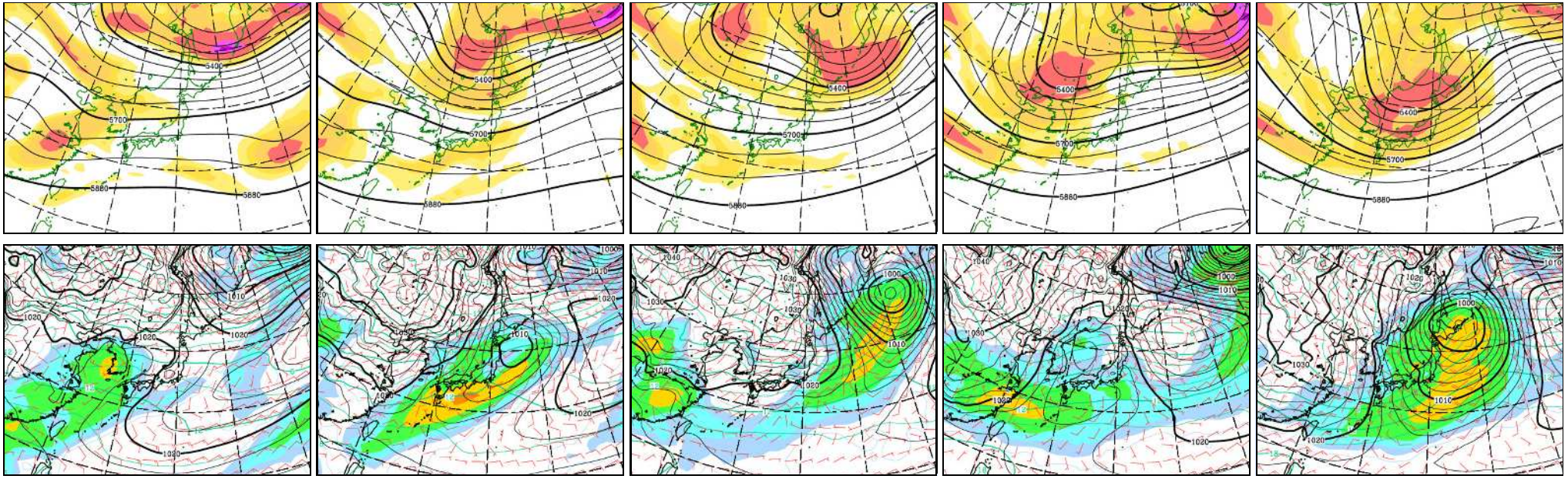
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



・北日本と東日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、14日は晴れる所がある。
・西日本と沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

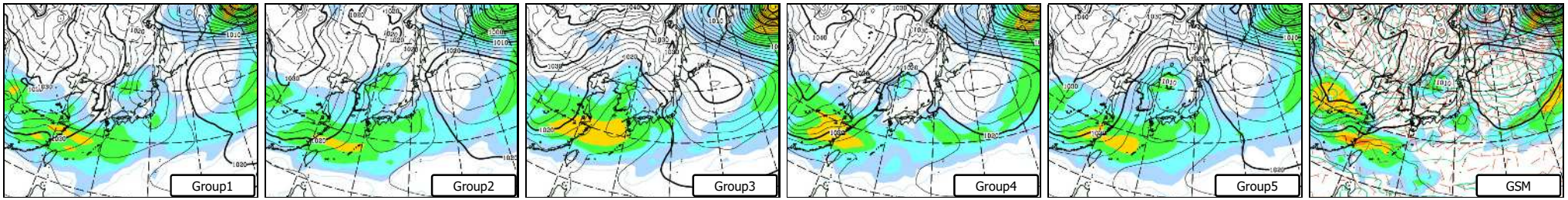
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月14日(土)　11月15日(日)　11月16日(月)　11月17日(火)　11月18日(水)



渦度(10^{-6}/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆11月17日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、15日から16日にかけて北日本を通過するトラフがやや深くなった。また、18日に日本海に進むトラフがやや深くなった。地上の気圧配置は、15日の日本の東の低気圧が明瞭になった。
・初期値変わりをしているモデルもあるが、16日頃まではモデルの予想はおおむね揃っている。17日以降は、トラフの進みにモデル間の差がある。
・17日は、GSMは日本海中部、ECMは黄海、NCEPは日本海西部に低気圧を予想する。ENSは、GSMやNCEPに近いメンバーが多く、ECMに近いメンバーはわずかとなっている。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。